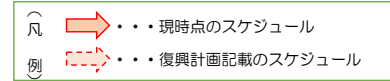




令和3年度 復興計画進捗管理表



主要施策	施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R4担当課
1. 「くらし」被災者の生活再建							
1-1 安全な宅地の確保							
1	安全な宅地の確保	【山口居住エリア（塚ノ丸）】 ・R5年度中に一部供用開始予定 【峯居住エリア（一王子団地）】 ・村有住宅跡地を活用 ・R4年度中に供用開始予定		山口居住エリア（塚ノ丸） 峯居住エリア（一王子団地）	R4年度供用開始予定 一部供用開始		復興推進課・建設課
1-2 公営住宅の整備							
2	災害公営住宅の整備	【渡地域（総合運動公園遊具エリア）】 ・R5年7月に供用開始予定 【一勝地域（永崎団地隣接地）】 ・R5年5月に供用開始予定 【神瀬地域（木屋角地区）】 ・小規模改良住宅事業を活用し、R5年度中に供用開始予定		渡 災害公営 一勝地 災害公営 神瀬 改良住宅	R5年度供用開始予定 R5年度供用開始予定 R5年度供用開始予定		復興推進課
3	村営住宅の整備	・総合運動公園（芝生エリア）に建設された木造仮設住宅を、村有住宅として転用予定（R5年度予定） ・入居対象者は、災害公営住宅の入居要件は満たしているものの、入居できないペット所有者及び、元々村有住宅入居者のうち、所得制限で災害公営住宅に入居できない世帯を想定		村有住宅（木造仮設住宅の転用）	R5年度供用開始予定		総務課
1-3 被災者に寄りそう住まいの再建支援							
4	住宅再建への支援	・「災害復興住宅融資相談会（住宅金融支援機構 熊本センター）」を月2回（第1、第3月曜日）さくらドーム仮設団地での開催		災害復興住宅融資相談会の開催	進捗に応じて、後期計画で検討		保健福祉課
	復興基金を活用した資金面での支援	・活用している事業メニューは以下のとおり 転居費用助成 民賃入居助成 自宅再建利子助成 ・引き続き、支援メニューの拡充を検討		基金メニューの活用・拡充	進捗に応じて、後期計画で検討		復興推進課
5	被災住宅の解体の促進	・公費解体については、R3年度末で完了 ・災害廃棄物の仮置場は、R3年12月で閉鎖		公費解体・災害ゴミ	終了		復興推進課
	災害廃棄物の適正処理	・ボランティアセンターによる片付けゴミの収集・処理は村で対応					
1-4 子育て・教育環境の再生と安心して学べる環境づくり							
6	教育環境のあり方検討	・球磨中学校敷地内の仮設校舎で再開		仮設校舎建設	授業再開		教育委員会
	小中学校再編整理の検討	・R3年度に小中学校再編計画検討委員会を開催 ・検討委員会の提言を踏まえ、R6年度の義務教育学校への再編を目標に準備を進める		再編検討委員会	義務教育学校への再編準備	義務教育学校開校	教育委員会

令和3年度 復興計画進捗管理表

(凡)  ...現時点のスケジュール
 (例)  ...復興計画記載のスケジュール



主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R4担当課
7	児童・生徒へのケア	スクールカウンセラー等の配置	・スクールカウンセラー2名を配置 ・スクール・ソーシャルワーカーによる相談体制の整備	 スクールカウンセラー等の配置			進捗に応じて、 後期計画で検討	教育委員会
		アフタースクール等の充実	・各小学校の見守り活動や、アフタースクール活動を継続して実施	 見守り活動・アフタースクールの実施			進捗に応じて、 後期計画で検討	教育委員会
1-5 日常生活や移動等生活環境の早期復旧と利便性向上								
8	交通環境の早期復旧	JR肥薩線・くま川鉄道の早期復旧	・引き続き、JR肥薩線の復旧を要望 ・くま川鉄道再生協議会において、県・流域市町村と連携して復旧に取り組む	 JR肥薩線・くま川鉄道の復旧				復興推進課
		利便性の高いコミュニティバスへの見直し	・道路の復旧状況や、住まいの再建状況に応じて順次見直しを実施	 コミュニティバスの見直し				復興推進課
9	生活基盤の早期復旧	水道の早期復旧	・順次、復旧工事を実施 ・渡地域における水道復旧工事については、沖鶴橋、相良橋の災害復旧工事に合わせてR5以降に実施予定	 復旧工事の実施				建設課
		移動販売による買い物困難者への支援	・引き続き、地域のニーズに合わせ巡回販売を実施	 巡回販売の継続			進捗に応じて、 後期計画で検討	復興推進課
2. 「きずな」 地域コミュニティの再生と脱炭素のむらづくり								
2-1 被災者の見守りや生活再建								
1	被災者の見守りや生活相談による心身のケア	地域支え合いセンター等による被災者の見守りや心身のケア	・引き続き、地域包括支援センターや精神保健福祉センター等の関係機関と連携し、訪問、電話連絡等の支援を実施	 被災者の見守り等の実施			進捗に応じて、 後期計画で検討	保健福祉課
2-2 地域コミュニティの再生								
2	仮設団地でのコミュニティづくりの支援	みんなの家を活用した交流の機会や場づくりの支援	・R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、仮設住宅等コミュニティ形成支援事業の申請実績はなし ・入居者の再建状況を確認し集約の検討を行う	 コミュニティ形成支援事業の活用・仮設団地集約の検討			進捗に応じて、 後期計画で検討	総務課
3	仮設コミュニティ拠点の復旧	公民館・集会所の復旧支援	・各班の復旧に向けた意向調査の実施 ・被災したコミュニティ施設の復旧や、移転団地におけるコミュニティ施設の整備を検討	 コミュニティ施設の復旧・整備			進捗に応じて、 後期計画で検討	教育委員会
2-3 地域文化の復活								
4	神社等の集落共有施設の復旧、文化財の修復支援	神社等集落共有施設の復旧、文化財の修復支援	・各班の復旧に向けた意向調査の実施 ・未指定文化財補助制度の創設 ・復旧工事の実施				進捗に応じて、 後期計画で検討	教育委員会
5	地域文化の復活	まつりや行事、郷土芸能等の復活	・郷土芸能等の披露の場を検討 ・R4年度に「ふれあい祭り」等の再開を計画	 「ふれあい祭り」等の再開				復興推進課・教育委員会
2-4 保健・福祉・医療の充実								
6	保健・福祉・医療の拠点整備	医療・福祉施設の村内での再建支援	・神瀬診療所の再開については、まちづくりを踏まえ検討 ・千寿園はR6年度中の再開を予定	 医療・福祉施設の再建				保健福祉課
		保健・福祉・医療等の連携した保健センターの整備	・今後のまちづくりを踏まえ、保健センター整備に向け検討	 保健センターの整備検討				保健福祉課

令和3年度 復興計画進捗管理表

(凡) → ……現時点のスケジュール
 (例) → ……復興計画記載のスケジュール



主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R4担当課
2-5 脱炭素社会に向けた取組強化								
7	公共施設や住宅の省エネの推進	公共施設や住宅の省エネ化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度中に再エネ導入戦略を策定 ・R4年度以降も戦略策定委員会を中心に村民や地元団体への展開を図る 		省エネの推進			復興推進課
8	再生可能エネルギーの地産地消の推進	球磨村の資源を活用した再生可能エネルギー事業の推進		戦略策定	再生エネの地産地消			
9	住民総参加型の環境保全・環境教育の推進	村民の様々な活動の支援、環境教育の推進			環境教育の推進			
3. 「にぎわい」 球磨川と共生する村の自然を活かした観光むらづくり								
3-1 村の観光資源をフル活用した誘客力の向上								
1	球磨川や棚田等、村の資源を活用した体験型観光の創出	球磨川や棚田、森林等村の資源を活用・組み合わせた体験型観光の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・くま森林サービス産業創出協議会を設立 ・サービス産業創出に向け、引き続き協議会において検討を進める 		体験型観光の創出			復興推進課・産業振興課
2	球磨村の新たな魅力の情報発信の強化	各種媒体を活用した魅力の情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・観光HPをR4年4月よりリニューアル ・サイトの充実を図る 		HP等による情報発信の強化			復興推進課
3-2 村の顔となる観光産業の再生								
3	観光施設や一勝地駅周辺施設の早期復旧支援	球泉洞や一勝地温泉かわせみ等の観光施設の早期再開支援、一勝地駅周辺施設の再開支援	<ul style="list-style-type: none"> ・球泉洞については、R4年4月から営業再開 		HP等による情報発信の強化		進捗に応じて、後期計画で検討	復興推進課・産業振興課
4	球磨川下りやラフティング等の再開支援	球磨川下りやラフティング等の早期再開	<ul style="list-style-type: none"> ・村内のラフティング協会加入団体では、R4年度から運行再開を目指している ・一勝地温泉かわせみは、R3年度より温泉のみを再開（村内利用者のみ） ・R4年度以降の営業再開（宿泊、食事）を目指す 	球泉洞の再開	R4年4月から再開	ラフティングの再開	R4年度から再開予定	
3-3 球磨川や森林空間を活用したサービス産業の創出								
5	球磨川や地域資源を生かしたサービス産業の創出	関係団体との協働体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・「3-1-1：球磨川や棚田等、村の資源を活用した体験型観光の創出」と連携 		体験型観光の創出			復興推進課・産業振興課
4. 「なりわい」 山の暮らしと農林業・商工業の生業（なりわい）再生								
4-1 力強い産業基盤の再生								
1	災害に強い産業基盤の整備	林道、森林作業道の復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・順次、災害復旧工事の実施 		災害復旧工事の実施		工事進捗に応じて対応	産業振興課・建設課
		治山・砂防施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所については、調査の上、土石流対策・山林崩壊対策を計画 ・災害関連緊急砂防事業3カ所 ・砂防激甚災害対策特別緊急事業8ヶ所 		土石流・山林崩壊対策			建設課
2	被災した営農環境の再生	被災した農道、農地、農業用施設の早期復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・順次、災害復旧工事の実施 		災害復旧工事の実施		工事進捗に応じて対応	建設課
4-2 農林業の再生と競争力強化								
3	被災した農林業者への再開支援	被災した農業機械等の復旧、営農再開への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を活用した営農再開支援については、R3年度で終了 		営農再開支援		進捗に応じて、後期計画で検討	産業振興課
		被災した製材所等の復旧への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・木材加工流通施設等については復旧済み 		製材所等の復旧支援		進捗に応じて、後期計画で検討	産業振興課

令和3年度 復興計画進捗管理表

(凡)  ……現時点のスケジュール
 (例)  ……復興計画記載のスケジュール

主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R4担当課	
4	稼げる農業の実現	球磨村産の農産物等を活用した加工品の開発、高付加価値作物への転換	・氷温熟成・氷温貯蔵によるブランド化の推進 ・BLOF理論に基づく農法の技術習得・技術指導の促進	稼げる農業の実現				産業振興課	
5	農林業のスマート化への支援	ICTを活用したスマート農林業の導入	・スマート農林業の実現に向けた検討、デモ等の実施	スマート農林業の検討				産業振興課	
6	村の資源を活用した雇用の創出	木質バイオマスの展開等新たな事業による雇用の創出	・「2-5：脱炭素社会に向けた取組強化」と連携	戦略策定	新たな雇用の創出			復興推進課	
		直売所等地域の活性化や地域のニーズに対応した事業の創出支援	・地域の農産物を集荷・販売する軒下支援事業を実施 ・今後、ネット販売等の展開を検討	軒下支援事業				産業振興課	
4-3 商工業の再生と振興									
7	商工業の再生支援	商工業の事業再建支援	・なりわい再生支援制度補助金の再建支援を実施	なりわい再生支援制度等の活用支援			進捗に応じて、後期計画で検討	復興推進課	
8	仮設店舗による商店の早期開設支援	仮設店舗による商店の早期再開支援	・R3年8月に運動公園仮設商店オープン ・R3年12月に一勝地仮設商店オープン	渡仮設商店建設	仮設商店で再開				復興推進課
				一勝地仮設商店建設	仮設商店で再開				
9	金融機関の早期再開支援	郵便局、JAの早期再開支援	・渡郵便局は、運動公園仮設店舗で再開 ・神瀬郵便局については、神瀬のまちづくりと併せて検討 ・JAは、移動局(車両)の提供開始	金融機関の再開			進捗に応じて、後期計画で検討	復興推進課	
5. 「そなえ」 災害に強いむらづくりに向けた復旧と備え									
5-1 道路、橋梁等インフラの早期復旧									
1	幹線道路の早期復旧と強靱化	国道219号や橋梁の早期復旧と強靱化	・順次、災害復旧工事の実施(国)	災害復旧工事の実施			工事進捗に応じて対応	建設課	
2	集落間を結ぶ生活道路の早期復旧	集落間を結ぶ生活道路の早期復旧	・順次、災害復旧工事の実施(県・村)	災害復旧工事の実施			工事進捗に応じて対応	建設課	
3	命を守る道路ネットワークの確保	災害に強い道路ネットワークの確保	・県道人吉水保線については、沖鶴橋の復旧工事と併せて整備予定 ・大槻地区から山江村方面への林道整備を計画中	道路ネットワークの確保				建設課	
5-2 河川の復旧と新たな治水対策									
4	球磨川流域治水の推進	球磨川流域治水と連携した復興まちづくりの推進	・遊水地(渡)は、用地調査実施後に用地協議予定(R4年度~5年度) ・引堤(渡)は、用地調査実施後に用地協議予定(R4年度~5年度) ・宅地かさ上げ(三ヶ浦~神瀬)は、地域協議が整い次第、用地調査を実施 ・引き続き、協議会や説明会を開催	遊水地			復興推進課・建設課		
				引堤					
				輪中堤・宅地かさ上げ					
5	球磨川支流の河川改修	護岸の復旧、堆積した土砂の早期撤去	・順次、災害復旧工事の実施(国・県・村)	災害復旧工事の実施			工事進捗に応じて対応	建設課	
5-3 山地災害の復旧									
6	砂防・治山施設の整備	砂防施設、治山施設の整備	・順次、災害復旧工事の実施(4-1再掲)	土石流・山林崩壊対策				建設課	

令和3年度 復興計画進捗管理表

(凡)  ...現時点のスケジュール
 (例)  ...復興計画記載のスケジュール

主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R4担当課
5-4 避難対策の強化								
7	安全な避難場所・避難所・避難ルートの見直し	ハザードマップの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年3月に「球磨村総合防災マップ」を全戸配布済み 	R2年度に見直し済み				総務課
		身近で安全な避難場所、避難ルートの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップで新たに避難場所等を指定 ・被災施設の復旧と併せて見直しを検討 ・山口居住エリア(塚ノ丸)と総合運動公園を結ぶ避難路を整備 (R5年度目標) ・地区と避難所を結ぶ道路の拡幅等を検討 		避難場所・避難ルートの見直し		進捗に応じて、後期計画で検討	総務課
		浸水深や避難所等の標識設置	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年7月豪雨災害の被災水位を示す、リアルハザードマップを設置 ・R3年度は渡、一勝地、神瀬地域で設置 		リアルハザードマップの設置		進捗に応じて、後期計画で検討	総務課
8	防災無線やSNS等を活用した情報伝達手段の強化	防災無線、戸別受信機、SNS等様々な手段の活用による情報伝達手段の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度中にデジタル無線整備工事完了 ・R4年度より村内一斉デジタル運用の開始 		情報伝達手段の強化		進捗に応じて、後期計画で検討	総務課
		通信施設の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度中に光ケーブルの災害復旧工事完了 ・通信設備の安全性確保について検討 		光ケーブルの復旧・通信施設の安全性確保		進捗に応じて、後期計画で検討	総務課
9	防災拠点の確保・整備	防災拠点の確保・整備と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・復興まちづくり計画を策定 ・神瀬地域の防災拠点について、R3年度より測量業務実施 (R5年度中の避難地整備目標) ・一時的な避難場所の確保(一勝地)や、避難所の機能強化(三ヶ浦、高沢)を検討 		神瀬防災拠点の整備		R5年度整備目標	総務課・復興推進課
5-5 自主防災体制の強化								
10	地域再生に合わせた自主防災活動の促進	自主防災組織の村内全域での展開と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の設立支援を実施 (現在14の自主防災組織が設立) 		自主防災組織の設立支援			総務課
		消防団詰所の復旧支援、装備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は被災した積載車や流失した備品等の補充を実施 ・消防団詰所の復旧については、補助金等を活用した、復旧支援を実施 		消防団詰所の復旧・装備の充実		進捗に応じて、後期計画で検討	総務課
		高齢者や障害者等避難行動要支援者の個別計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画は策定済み ・個別計画を基に、要支援者の避難行動及び防災体制に務める 		避難行動要支援者の個別計画策定・推進		進捗に応じて、後期計画で検討	保健福祉課
		要配慮者利用施設の避難確保計画の見直し・作成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者利用施設において、各施設ごとに避難確保計画を作成済み ・定期的に見直しを実施 		避難確保計画の策定・見直し			保健福祉課
		防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区、団体への防災講話の開催 ・R3年度に実施した「全村民が非難について考える日」等を引き続き実施 ・R4年度より防災ブロック会議の再開 		防災教育の推進			総務課
11	家屋や農作物等に対する保険等への加入促進	保険等の加入に関する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度に水災補償加入促進補助金制度を創設 (R4、4時点 32件申請) ・引き続き制度周知を図る 		水災補償加入促進補助金制度		進捗に応じて、後期計画で検討	総務課